



1 はじめに

～ 目 次 ～

1	はじめに	・・・1
2	アクションプランのめざすところ	・・・2
3	目標	・・・3
4	これまでの取り組み, 今後の取り組み予定	・・・4
5	みんなの「ばら」100万本プロジェクト 事業	
	Ⅰ 新たな名所, 拠点となる場所の創出プロジェクト・・・5	
	(1) みんなで取り組む事業	
	(2) 行政が中心に取り組む事業	
	(3) 市民, 各種団体, 事業所等が中心に取り組む事業	
	Ⅱ 全市を挙げてみんなで取り組むプロジェクト・・・9	
	(1) みんなで取り組む事業	
	(2) 行政が中心に取り組む事業	
	(3) 市民, 各種団体, 事業所等が中心に取り組む事業	
	Ⅲ ばらの植栽サポートプロジェクト・・・10	
	(1) みんなで取り組む事業	
	(2) 行政が中心に取り組む事業	
	(3) 市民, 各種団体, 事業所等が中心に取り組む事業	
	Ⅳ 花だけじゃない!!!ばらのアピールプロジェクト・・・12	
	(1) 名所・拠点となる場所をPRする事業	
	(2) ばらのイメージアップに関する事業	
	(3) 「思いやり」「優しさ」を育てる事業	
6	資料編	・・・14

福山市の「ばらのまちづくり」は、1945年（昭和20年）8月8日、市街地の約8割を焼失した福山空襲から、戦後の復興と荒廃した街へ潤いをもたらすことを願い、「花こそ心が安らぐもの、花を植えよう」と、現在のばら公園付近の住民と行政が協働し、「ばら」を1,000本植え付けたことから始まりました。

その後、「ばらのまちづくり」は市民と行政が一体となった「協働のまちづくり」の原点として位置づけられ、今日まで「ばら」をシンボルとしたさまざまな取り組みが市内各地で行われてきました。

そして、2007年（平成19年）に策定した第四次福山市総合計画において、「にぎわいしあわせあふれる躍動都市～ばらのまち 福山～」を将来都市像とするなど、「ばら」は福山市の都市ブランドとして定着しています。

そうした中、2009年（平成21年）5月、「ばら」を通じたまちづくりを市の内外へ効果的に発信し、福山市の都市ブランド力をさらに高め、知名度アップを図ると同時に、市民一人ひとりが「ばら」に対する想いを共有することのできる、「100万本のばらのまち 福山」を実現するため、市民の代表で組織する「100万本のばら市民会議」を立ち上げ、議論を重ねてまいりました。

ここに、市民の参画と協働による、『ばらのアクションプラン』を策定し、～みんなの「ばら」100万本プロジェクト～として、市民・各種団体・事業所・行政の協働により、100万本のばらのまちの実現に向け、ともに取り組んでまいります。